



よ坊さんだより

▼2▲

患者さんが歯科医院を受診されるとき、たいていの場合、お口に何かのトラブルを抱えられています。その来院の「きっかけ」は、

むし歯や歯周病であることが多いので、この二つの病気を「歯科の二大疾患」と呼びます。

むし歯と歯周病が二大疾患と呼ばれるのは、発生率

が高いことに加えて、歯を抜く原因の4割強をむし歯と歯周病がそれぞれ占める

悪化すれば全身に影響

からです。また、これら二つの病気の厄介な点は、初期のうちにはほとんど自覚症状がないまま進行、悪化することです。さらに、歯

周病はお口の中にトラブルを起すばかりでなく、心筋梗塞や脳梗塞といった全身疾患の原因になったり、糖尿病の悪化にも関連することが明らかになってきています。

このように、歯科の病気は初期には自覚症状がな

ていますが、その詳細については別の機会にこのコーナーでお話しします。

「よ坊さんだより」では、二大疾患以外のお口の中に生じるトラブル、顎関節症や口の渇き、入れ歯の不具合等々について解説していきます。次回（5月10日）からは、歯がなくなった後に使用する入れ歯についてのお話です。

（京都府歯科医師会広報担当理事 内藤雅文）

＊「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。